

2001年の製造品出荷額について

2001年における全国の事業所（従業者10人以上）の製造品出荷額は前年比4.2%減少し、276兆802億円となった。

都道府県別では前年より増加したのは47都道府県中福岡県を含む6県のみであった。

経済産業省がとりまとめた2001年の工業統計速報によると、全国の従業者10人以上の事業所の製造品出荷額は前年比4.2%減少し、276兆802億円となった。

産業別に内訳を見ると、出荷額全体の約2割を占める電気機械がITバブルの崩壊の影響を受け、前年比11.8%減少し、一般機械もIT関連の設備投資の減少や公共投資の縮小などから前年比5.8%の減少となった。

他方、輸送機械は国内向け乗用車や自動車部品の内外需の増加から前年比1.8%の増加となった。

製造品出荷額から原材料使用額や減価償却額などを差し引いた付加価値額も全体の2割弱を占める電気機械が前年比20.3%減少したのをはじめ、輸送機械を除く全産業で減少したことから、前年比5.7%減の97兆8249億円と13年ぶりに100兆円を下回った。なお、輸送機械については乗用車が好調であったことから、前年比5.9%の増加となった。

都道府県別製造品出荷額は、47都道府県中41都道府県で減少し、6県（石川県、愛知県、山口県、福岡県、長崎県、沖縄県）のみの増加となった。

福岡県の製造品出荷額は前年比0.6%増加の7兆1252億円となり、2000年に引き続き全国13位となった。増加の主要因としては、出荷額の約2割を占める輸送用機械が前年比26.2%増の1兆6333億円と大幅に増加したことがあげられる。

都道府県別出荷額と前年比

